



NPO PTPL “ともいき” 便り No.94

平成 28 年 (2016 年) 2 月 19 日発行

■雨水 (うすい) 2 月 19 日から 3 月 4 日までの節気

春一番もふいて、梅も満開。節気は「雨水」に入りました。「雪や氷が溶けて、降る雪が雨に変わる」ころです。ともいき暦で 2 月 19 日のピンクのボタンをクリックしてみてください。「雨水」の景色を映像で見ることができます。雪はまだ残っていますが、空は明るく、春の気配を感じさせてくれます。

(ともいき暦 <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>)

この時季の童謡といえば、「春よ来い」。♪春よ来い 早く来い あるきはじめて みいちゃんが 赤い鼻緒のじょじょはいて おんもへ出たいと 待っている♪ 作詞は、早稲田大学の校歌「都の西北」を書かれた相馬御風。作曲は「鯉のぼり」「雀の学校」などの弘田龍太郎。御風は新潟県出身なので、雪がとけて春めいてくるこの季節が特に待ち遠しかったのでしょうか。小さなみいちゃんのかわいらしい姿が、目に浮かびます。私が節気ごとに季節の話題をお送りしている FM ラジオ番組サードプレイス「すとうあさえのともいき暦」では、毎回季節の歌を 2、3 曲お届けしています。「立春」の回では、「春よ来い」ではなく、松任谷由実さんの「春よ、来い」を流しました。「雨水」では、「どこかではるが」を流す予定です。こちらも、いい歌です。

(サードプレイス www.jfn.jp/RadioShows/place)

3 月 3 日はひな祭り。女の子の成長を願い、祝う日です。「桃の節句」とも呼ばれています。「桃」は「悪魔を祓う神様の木」と信じられていたそうです。余談ですが、だから桃太郎も「桃」から生まれたのかもしれませんがね。

さて、お雛様を飾られた方も多いと思います。我が家も母方の祖母が贈ってくれたお雛様を飾りました。ガラスケースにおさまったコンパクトなお雛様です。以前勝浦の遠見岬神社の階段に約 1500 体の雛人形が並んでいるのをテレビ

のニュースで見たことがあります。雨が降ったり、夜の間はどうするのかと思いきや、毎日しまつては、飾るのだそうです。大仕事です。そして飾られている雛人形は、里子に出されたお人形だそうです。大勢のお雛様。それはそれは、華やかで美しいです。

二十四番花信風をご存知ですか。小寒から穀雨までの8節気をそれぞれ3つにわけ、全部で24の季節ごとに咲く花をしらせてくれる風のことです。花のかおりをのせて季節を教えてくれる24の風なんて、すてきですね。それだけ花がつぎつぎに咲く時季ということもあるのでしょう。ちなみに、「雨水」は、菜の花、杏、すもも。次の「啓蟄」は、桃、やまぶき、薔薇。私は花粉症の身。この時季に深呼吸ができない……。がつくりです。せめて、目で花を楽しみたいと思います。

私の町の和菓子やさんに、もう花見団子、桜餅が並んでいました。草餅をかうつもりで入ったのですが、思わず桜餅を買ってしまいました。和菓子も春めいてくる雨水の季節。みなさま、健やかに過ごしてください。

すとうあさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

季語について

季語や二十四節気についての説明は歳時記に記載されています。

季語についての知識を学ぶために歳時記は俳人、俳句愛好家にとっては心携の書です。しかし和歌、俳句を嗜まない人にとっても季語は日本という自然風土、歴史、伝統、習慣、文化などの認識を深め地球環境、自然保護を考える時に役立ちます。また、私たち日本人が自己のアイデンティティや伝統的感性を確認する意味でも季語は重要です。

”人與人、人と自然のコミュニケーション”がこれからの時代の重要なコンセプトと考え、その啓蒙活動をするNPO PTPLでは、二十四節気と季語をとっても大切なひとつと考えています。

ここで、雨水の節気にちなんだ季語をいくつか紹介します。

① 春めく

春の到来を真っ先に感じるのは光です。

障子に差す朝日に、枯れた櫛の網目のような枝々に、海や川の波に差す光に、私たちはいち早く春を感じます。

肌に刺す風はまだ冷たくとも、春の胎動を覚えます。

② 東風（こち）

王朝時代より、凍てを解き春を告げる風、梅を開花させる風として多くの歌に詠まれてきました。

冬の気圧配置がくずれると、太平洋から大陸に向かって吹く柔らかい東風ですから、王朝歌人に限らず、日本人なら誰でもこの恩恵を受けたはずです。

③魚氷に上る（うおひにのぼる）

水もぬるんできて、氷の割れ目から魚が躍り出て、氷の上に乗る、というやや荒唐無稽の言葉ですが、俳人はわりに好んで使いました。

詳しい解説は「ともいき暦」の表紙の季語をクリックしてください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

皆さん、いかがですか？

何となく、気分も春めいてきますね。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

●たたみ一畳農園から便りが届きました。

NPO PTPL の活動の一つである「ハンドインハンド」活動。

JR 目黒駅ビルの「アトレ目黒1」6Fの空中庭園では、「たたみ一畳農園」を展開中。（現在8基）

たった1畳分の畑ですが、季節ごとの景色を見せてくれます。2月の畑では、菜っ葉が整然と行列をつくったり、なぜか黒のビニール袋をかぶっている水菜、遠慮がちに「ここにいますけど・・・」と主張しているブロッコリーや大根。さらに、ハボタンやすみれなどの花もいきいきと咲いています。もうすぐ春ですね。

開園時間は10:00～18:00

目黒へお越しの際は是非、お立ち寄りください。

アトレ目黒：<http://www.atre.co.jp/shiten/index.php?scd=2>

※フェイスブック「ともいきぐらし」でも掲載中。写真もご覧いただけます。

ともいきぐらし：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

●イベントのご案内

地域（里山）の景観と暮らしを考え、地域（里山）の生活や文化、景観の再生を図る為のきっかけとなる運動イベント「SATOYAMA movement」が2016年3月19日（土）・20日（日）にパシフィコ横浜で開催されます。

NPO PTPLもこのイベントを応援しています。

入場無料ですので、是非、お立ち寄りください。

「SATOYAMA movement」：<http://satoyamamovement.com>

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@ptpl.or.jp